

松江市

結ばれし神の縁。

宮崎市

黄泉の国

揖夜神社

黄泉比良坂

神生み

みそぎ池

神話

由神社

神生み

松江市

◆概要

山陰のほぼ中央、島根県東部に位置する同県の県庁所在地で、山陰の経済の中心を担う拠点都市のひとつです。宍道湖・中海・大橋川を臨む水の都で、江戸時代以降松江藩の城下町として栄えてきました。明治時代以降に県庁所在地となり、小泉八雲によって欧米にも紹介されました。縄文時代から奈良時代の遺跡や、神話ゆかりの地も多く、関係する神事や行事が現在でも多く行われています。

◆主な観光地・特産品



宍道湖



松江城



東出雲のほし柿



宍道湖のシジミ

◆アクセス

- 飛行機 出雲空港（空港連絡バスで松江駅まで約25分）
米子空港（空港連絡バスで松江駅まで約40分）
- 鉄道（市内中心部最寄の駅） JR松江駅
一畑電鉄松江しんじ湖温泉駅
- 高速バス 東京・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・福山・広島・福岡・小倉より発着便あり
- 乗用車 中国縦貫自動車道→松江自動車道→山陰道→松江玉造IC

◆お問い合わせ◆

松江市観光文化課
島根県松江市末次町86
0852-55-5214

宮崎市

◆概要

宮崎市は、日向灘を臨む宮崎県の中央部にあり、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた「自然」「食」の宝庫です。温暖な気候を生かしプロ野球やサッカーなどのキャンプ地、サーフィンなど、さまざまなスポーツが行われます。
また、神話ゆかりの地として知られ、鬼の洗濯板で有名な青島、神武天皇を主祭神とする宮崎神宮をはじめ、神話の舞台とされる池や、伝説が数多く残されています。

◆主な観光地・特産品



青島



堀切峠



宮崎牛



マンゴー

◆アクセス

- 飛行機 宮崎空港（JRで宮崎空港駅から宮崎駅まで約10分）
- 鉄道（市内中心部最寄の駅） JR宮崎駅
- 高速バス 京都・大阪・神戸・福岡・長崎・熊本・新八代・鹿児島より発着便あり
- 乗用車 九州自動車道→宮崎自動車道→宮崎IC

◆お問い合わせ◆

宮崎市観光課
宮崎県宮崎市橘通西1丁目1番1号
0985-21-1791

出雲地方と日向地方の神話

古事記や日本書紀にある神話の大部分は出雲地方と日向地方が舞台です。そのため出雲地方も日向地方も神話ゆかりの地や、伝承が数多く残されています。

【出雲地方の神話】

イザナキとイザナミの二神による国生み・神生みの後、阿波岐原の禊ぎの際に生まれたアマテラスとスサノオの姉弟は天上界で様々なやりとりをしますが、スサノオがあまりにも乱暴をはたらいたため、天上界を追放されて出雲の国に降り立ちます。

乱暴だったスサノオは、地上世界では勇敢で、人々を苦しめていたヤマタノオロチを退治し、平和をもたらすなど、ヒーロー

▲ヤマタノオロチの伝承池が数多くある斐伊川



▲オオクニヌシを祀る出雲大社

として活躍します。

また、スサノオの後に登場するオオクニヌシノミコトは、因幡のシロウサギを助けたり、兄神たちに命を狙われながらもたびたび復活し、苦難を乗り越えて、偉大なる神、大国主大神に成長して豊かな国を築いていきます。

しかし、天上界の姉神アマテラスがこの国を譲るよう使者を送り込んできたため、話し合いの末、この国を譲るのです。このスサノオとオオクニヌシのゆかりの地が、出雲地方には数多く存在しています。

【日向地方の神話】

国譲りの話し合いが終わると、早速、アマテラスは、孫のニギノミコトを高千穂に降臨させます。そして、ニギノミコトが笠沙の御前^{みづのまへ}で出会った美女、コノハナサクヤヒメとの間にできた子の話が、海幸・山幸のお話で、兄の釣り針をなくしてしまった山幸は、海神宮^{うみのかみみや}でトヨタマヒメに出会い、ウガヤフキアエスノミコトを生みます。

そしてウガヤフキアエズとタマヨリヒメとの間に生まれたのが、カムヤマトイワレビコノミコト、つまり初代天皇の神武天皇です。

宮崎には、天孫降臨から神武天皇が大和に向かって船出されるに至るまでの伝承地が数多く存在しています。

武天皇です。

宮崎には、天孫降臨から神

武天皇が大和に向かって船出

されるに至るまでの伝承地が

数多く存在しています。



▲海幸彦・山幸彦の舞台とされる青島

▲ニギギが降臨した高千穂

結

- 編集：NPO法人出雲学研究所
- 発行：松江市観光文化課
- 協力：宮崎市観光課



イザナギとイザナミの物語

この国を初めて統一した大和朝廷は、天武天皇の命によりこれまでの日本の歴史を書物にまとめました。
これが日本最古の書物『古事記』です。
そしてその冒頭には、この国の国土や八百万の神々を産み、現在の私たちの時代に続く人間世界の礎を築いた仲睦まじいイザナギノミコトとイザナミノミコトの物語が記され、その舞台として松江市東出雲町（島根県）と宮崎市阿波岐原町（宮崎県）が登場します。
この二柱の神の物語を覗いてみましょう。

天地が初めて開けたとき、この国は、まだ固まった土地がなく、脂が水に浮かんでいるような状態でした。そこで、天界の偉い神様が、とても仲の良いイザナギとイザナミの夫婦神に、この漂っているものをまとめて固めるよう命じました。命令を受けた二神は、淡路島を皮切りに四国、隠岐、九州…と、次々に国を生んで大八島国（日本の国土）を造り上げました。

そしてさらに、岩や水門、風などの自然の神々や、戸口、屋根、家など、身近な生活に関わるたくさんの方々の神々を生んでいきました。ところが、火の神を出産する際に、妻のイザナミはホトに火傷を負い、死者が住むという黄泉の国に行ってしまうました。

黄泉の国

夫のイザナギは黄泉の国に行き、「まだ国造りが終わっていないのでいっしょに帰ろう」と話をしますが、妻のイザナミは、「黄泉の国の食事をしてしまつたので帰れない」といいます。しかし、せっかくなので愛しい夫を迎えに来てくれたので、イザナミは黄泉の国の神様に相談することにし、ここに自分が戻って来るまで絶対に覗かないよう言い残して、黄泉の国の宮殿の中に入っていきます。しかし、いくら待っても妻が戻ってこないため、しびれを切らしたイザナギは中を覗いてしまいました。するとそこにはウジが這い、恐ろしい雷神たちがまみれ付いた妻の姿がありました。恥ずかしい姿を見られたイザナミは怒り狂い、ヨモツシノメや黄泉の国の軍勢にイザナギを追わせました。



しかしイザナギは、これらの追っ手を身に付けていた物や周りの植物の助けを得て次々とかわしていきます。そこで彼らでは役に立たないと思ったイザナミは、とうとう自ら夫を追いかけました。

必死の思いで黄泉比良坂までたどり着いたイザナギは、黄泉の国を出ると、千人もの力でやごと動くほどの大きな岩で入口を塞いでしまいました。

阿波岐原の禊ぎ

さて、黄泉の国から帰ってきたイザナギは、日向国の阿波岐原へ行き、死者の国の穢れを落とすために禊ぎをしましたが、ここでもイザナギが穢れをするたびにたくさんの方々が誕生します。



そして禊ぎの最後に、左目を洗うとアマテラスオオミカミが、右目を洗うとツクヨミノミコトが、鼻を洗うとスサノオノミコトが誕生しました。イザナギは、貴い神が生まれたと三柱の神の誕生を喜び、アマテラスには高天原を、ツクヨミには夜の国を、スサノオには海原を治めるように命じました。

アマテラスは太陽神、ツクヨミは夜や月の神、そしてスサノオは、後にヤマタノオロチを退治して人々を助ける偉大な神様です。



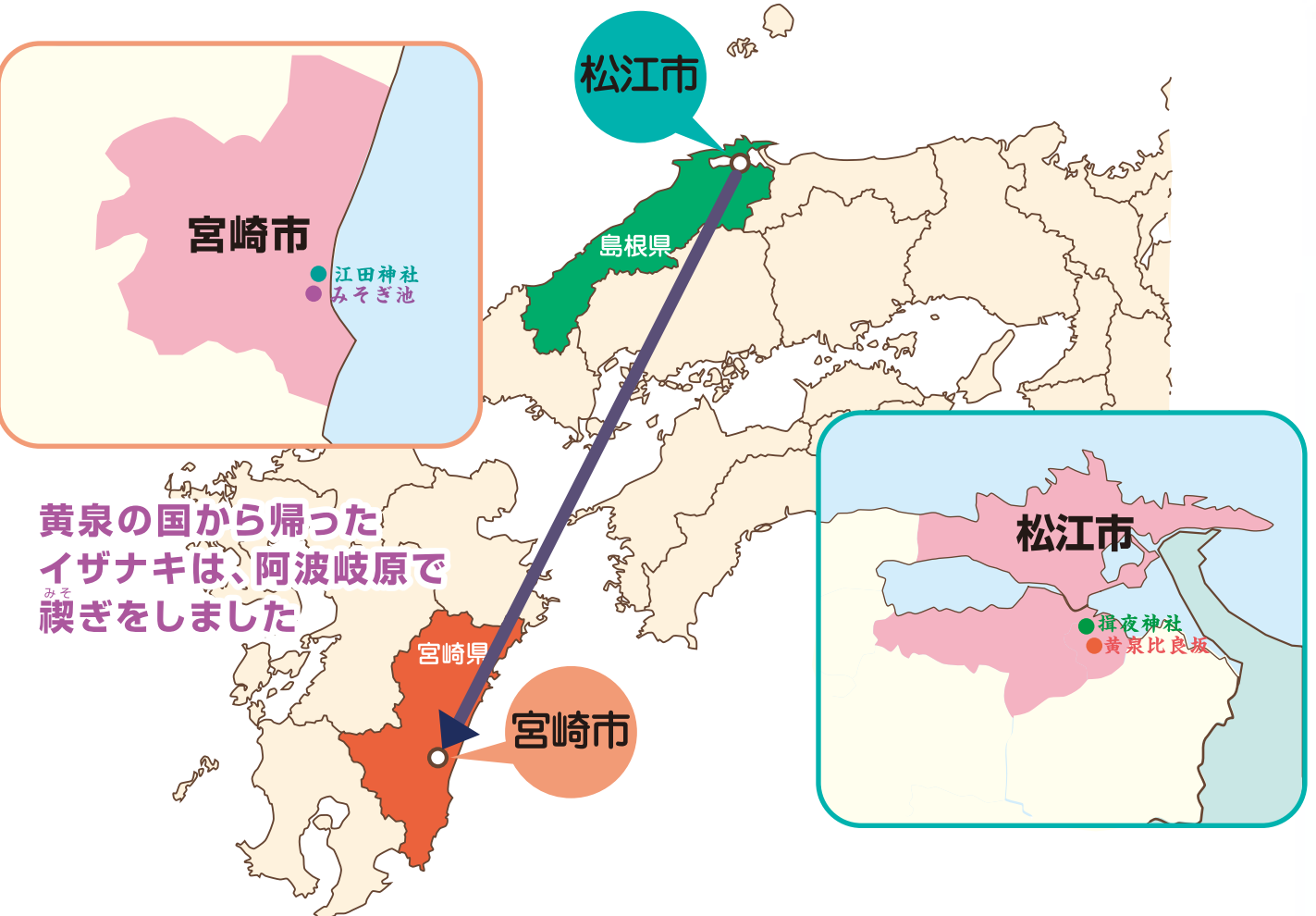
松江市



●黄泉比良坂
…松江市東出雲町損屋
黄泉の国と現世との境界である黄泉比良坂（伊賦夜坂）。黄泉の国から逃げ帰ったイザナギは、ここで黄泉の国への入口を塞ぎ、追ってきたイザナミと最後の言葉を交わしたとされる。この二神の言葉により、人間の世界が1日に1000人が亡くなり、1500人が生まれるようになったと『古事記』に記されている。



●揖夜神社
…松江市東出雲町損屋
伊布夜社あるいは言屋社として古書に表記され、黄泉比良坂（伊賦夜坂）と関連の深い神社。イザナミノミコトを主祭神として祀る。『日本書紀』斉明天皇の条にも登場し、当時から中央にも名が通った神社であることが伺える。黄泉比良坂から徒歩10分。



黄泉の国から帰ったイザナギは、阿波岐原で禊ぎをしました

宮崎市



●江田神社
…宮崎市阿波岐原町
10世紀に記された『延喜式』にも記される古社で、イザナギとイザナミの二神を祀る。神社であげられる祝詞の冒頭には「かけまくも畏き伊邪那岐の大神、筑紫の日向の橘の小戸の櫛腹（阿波岐原）に禊ぎ祓えたまいしに……」と、この地のことが登場する。みそぎ池から徒歩5分。



●みそぎ池
…宮崎市阿波岐原町
黄泉の国から帰ってきたイザナギは、死者の国の穢れを落とすため、阿波岐原にやってきて禊ぎをしたと伝えられ、ここでアマテラスオオミカミ、ツクヨミノミコト、スサノオノミコトの三貴子が誕生する。日向灘に面したシーガイアから徒歩5分。